

アマミノクロウサギ交通事故地点MAP

このMAPはアマミノクロウサギの交通事故が多発している道路を示したものです。
赤線部分の道路は特に交通事故に気を付けて運転をお願いします。

奄美大島をドライブする際の注意点

- 1. 車のスピードは出し過ぎない！**
島内の道路には生き物がでてきます。すぐに止まれる速度で運転しましょう。
- 2. 夜間の運転は特に注意！**
アマミノクロウサギをはじめ、夜行性の生き物が多いため、夜の運転は特に注意しましょう。
- 3. カーブ先の事故が多発しています！**
見通しの悪いカーブでの事故が多発しています。カーブ手前では速度を落としましょう。



生命あふれる世界自然遺産の島「徳之島」

世界でここにしかない種や絶滅のおそれがある種をはじめ多くの生きものが暮らしていることが評価され、2021年7月に徳之島は世界遺産に登録されました。



この世界の宝となった自然を思いっきり楽しみたいところですが、一方で生きものが多いためこそ注意しなくてはならないこともあります。

生きものの交通事故が多発しています

徳之島では、アマミノクロウサギなど希少な生きもののロードキル（生きものの交通事故死）件数が増加しています。特に夜間は様々な生きものが活動しており、気づかぬうちに轢いてしまうことがあります。



暗間では見えにくいクロウサギ



クロウサギの交通事故死

交通事故多発地点の特徴

— ロードキル多発道路

① 県道618号線（松原～轟木）



夜間は真っ暗になり、カーブが連続するので、見通しがとても悪くなります。カーブ前後はドライバーもアマミノクロウサギも気づくのが遅れるので要注意！

② 県道629号線（手々～金見）



海沿いの直線道路でも、アマミノクロウサギは飛び出してくることがあります。いつでも出てくるかわからないのでスピードの出しすぎには要注意！



— ロードキル多発道路
— 世界自然遺産地域
— 緩衝地帯
— 奄美群島国立公園(緑枠内)

交通事故を防ぐために

ロードキルが発生しやすい道路には必ず夜になると光るロードキル防止看板や「クロウサギに注意」と書かれた路面標識が設置されています。特に夜間はスピードが出やすい道路では注意しましょう。

ドライバーの安全、野生生物の安全のためにも、生きものへの思いやりとゆとりのある運転が大切です。



夜の思いやり運転のコツ

- スピードが出やすい道路や林道での減速
- ハイビームで道路上をしっかりと照らす
- 注意標識を見たらいつでも止まれる速度

自然を楽しむための利用マナー

世界自然遺産地域は国立公園に含まれています。自然を守るためのルールとマナーを守って利用しましょう。

- 動物や植物は捕らないでください。大切に見守りながら楽しみましょう。
- ゴミは捨てずに持ち帰りましょう。きれいな島を未来につなげていきましょう。
- 島には毒蛇ハブもいますので山や森などに入るときはエコツアーガイドに案内してもらいましょう。

特にアマミノクロウサギなどの夜の生きものの観察は、エコツアーガイドと一緒に楽しむことを推奨します。

徳之島は人と自然の距離がとても近い島です。それがこの島の魅力ですが、一方で生きものの交通事故など人の影響も受けやすい島です。この島を訪れる人もこの島に暮らす人も同じ思いやりを持って、この島の豊かな自然を感じましょう。